

故郷にいかっぷ

歴史浪漫の旅

【第12回目～奥新冠の石灰岩鉱床】

新冠鍾乳洞はあるのか!?

「奥新冠の石灰岩鉱床」

《文》新川剛生学芸員

6月1日の日曜日、役場職員から生まれたアイディアで、商工会青年部が中心となり、岩清水地区の資源調査が行われました。岩清水という地名の名の如く、岩に囲まれたこの地に、名水のようなきれいな水が湧き出ているのかを確認するのとあわせて、昔から言われている石灰岩鉱床のことについても現地に行つて確かめてきました。今回はこの石灰岩鉱床のことについて紹介したいと思います。

きます。多くは、古生代や中生代といった太古の昔にサンゴや貝類等の生物の死骸が堆積してできたものだと考えられています。幌尻岳などの登山の折に、白っぽい岩盤が露頭しているのを目にした方もいると思います。

昭和

和30年代後半、奥地の資源調査として一度専門的な石灰岩の調査がなされ記録も残されています。その記録によると、現在の奥新冠ダム付近に大規模な石灰岩鉱床があり、その鉱量は推定で8220万トンにものぼると記されています。さらに、岩の質もき

わめて良質なので、セメント工業には充分に適している場所であるとも報告されています。実際は、あまりにも奥地であり輸送等に莫大な経費がかかるのか実現には至っていません。いづれにしても、大規模な石灰岩があることは知られていました。

乳洞はもしかしたらあるのかもしれない。ところで、調査後に知り合いの学芸員に聞いた話ですが、旧日高町の山間に鍾乳洞があったという言い伝えがあるとのこと。本場にそうであったかどうか確認はないようですが、もしかしたら案内外が新冠とつながっているのかもしれない。みなさんもロマンに想像を巡らせてみてはいかがでしょうか？

新冠

冠町の地質は、泉地区を境に大きく2分されるといわれています。海岸部の方は第三紀といわれる比較的新しい地質、そして奥地の方は古生代や中生代といった古い地質に属します。奥新冠には、石灰岩に囲まれた場所が多数確認で



▲6月1日の調査、「大理石の沢」にて石灰岩の露頭をのぞむ

秋吉台、北海道では上川郡当麻町の鍾乳洞が有名です。では、新冠には鍾乳洞があるのでしようか？

私

自身6月1日の調査に同行しましたが、残念ながら鍾乳洞のような穴は発見されませんでした。これまでも新冠に鍾乳洞があったと報告されたことは現在のところありません。ただ、石灰岩は水に溶けやすいので小規模な鍾

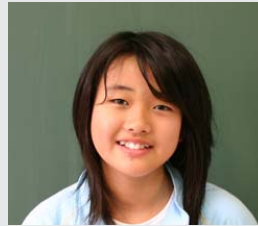


▲奥新冠ダムの付近であやしき？穴を発見、その場所までは遠すぎて行けず。カメラを望遠にして撮影。

みんなの広場

朝日小学校6年生です

ぼくとわたしの



◇私の将来の夢は、まだ決まっていません。でも、人の役に立てるような仕事をしたいです。

平山 梨々香



◇ぼくの将来の夢は、大学の教授になっていろいろ研究することです。自然が好きなので、生物について調べたいです。

水澤 克哉



◇私の将来の夢は、看護師です。病院に入ったら、病気の人たちに優しくして、いい看護師になりたいです。

三宅 穂乃華



◇ぼくの将来の夢は、今は野球が好きなので、野球関係の仕事をしたいです。

山内 龍之介



◇ぼくの将来の夢は、プロ野球選手になることです。ライオンズに入団して、ヒットやホームランをたくさん打ちたいです。

吉川 朝彦

柿本 康子さん

静岡県榛原郡出身

実習牧場

太陽 森藤農場

実習開始日

平成20年6月1日

志望の動機

学生時代に動物園で実習をして以来、動物に関する仕事に興味を持つようになり応募いたしました。



感想

実習を開始して一ヶ月が経ちました。少しずつですが、仕事や生活にも慣れ、新しい環境を楽しむゆとりができました。

雄大な自然の中で、体験することすべてが新鮮で、充実した実習生活を送っています。